



マカオ政府観光局 ニュースリリース

Macao Government Tourism Office-Japan | News Release

関係者各位

2021年4月9日

マカオ・グランプリ博物館 リニューアルを経て再開へ



4年間の拡張工事を終え、4月2日からマカオ・グランプリ博物館の一般公開が始まりました。

装いを新たにして開館したマカオ・グランプリ博物館は地下含む4階建て。総床面積は改装前の6倍広い約16,000㎡に。エンターテインメントやレジャー体験を通じて、来館者がマカオグランプリの理解を深められるように設計されています。アイルトン・セナやミハエル・シューマッハなど日本でも有名な選手のレースカーが展示されているほか、エントランスの「ピット・パス」でEメールアドレスを登録すると、館内のレース体験ゲームに参加でき、ゲームの結果が記録されます。各階の展示テーマは下記の通りです。

4年間の拡張工事を終え、4月2日からマカオ・グランプリ博物館の一般公開が始まりました。装いを新たにして開館したマカオ・グランプリ博物館は地下含む4階建て。総床面積は改装前の6倍広い約16,000㎡に。エンターテインメントやレジャー体験を通じて、来館者がマカオグランプリの理解を深められるように設計されています。アイルトン・セナやミハエル・シューマッハなど日本でも有名な選手のレースカーが展示されているほか、エントランスの「ピット・パス」でEメールアドレスを登録すると、館内のレース体験ゲームに参加でき、ゲームの結果が記録されます。各階の展示テーマは下記の通りです。

3階	マカオ・モーターサイクル・グランプリ	モーターサイクルの分解、モーターサイクルVRレース体験
2階	マカオ・グランプリ	グランプリの初期、マカオ・グランプリF3レース
1階	エントランス	ギア・サーキット、ピットパス登録カウンター、ギフトショップ
地下1階	ギア・レースとマカオGTカップ	レース体験、上映室

マカオ・グランプリとマカオ・グランプリ博物館の歴史

マカオ・グランプリが初めて開催されたのは1954年。その頃は、マカオ市民の自動車愛好家たちの間で始まったアマチュア・レースでした。次第にプロのレーサーたちも集まるようになり、1967年にはマカオ・グランプリの特徴のひとつでもある「マカオ・モーターサイクル・グランプリ」がプログラムに加わりました。1972年には「ギア・レース」が登場し、世界中のレースファンたちの間で不動の人気を獲得。1983年、マカオ・グランプリはF3に格上げされ、若いレーサーたちのF1への登竜門となりました。その10年後の1993年、マカオ・グランプリ40周年を記念して初代マカオ・グランプリ博物館が開館。2021年4月リニューアルオープンしました。

▼マカオ・グランプリ博物館

入館料: 大人 MOP40(約600円)、子ども(4~12歳)学生(学生書提示)65歳以上 MOP20(約300円)

開館時間: 10:00~13:00、15:00~18:00(最終入館時間 12:00/17:00)

ウェブサイト: <https://mgpm.macaotourism.gov.mo/en/>

本件に関するお問い合わせは以下まで

マカオ政府観光局 市村・齊藤

Tel: 03-5275-2537 Fax: 03-5275-2535 Email: macaopr@milepost.co.jp

マカオ政府観光局公式 SNS で現地最新情報を発信中

